

# 認知症ケアパス一覧

認知症の状態や症状など、経過に応じて利用できる支援・サービスは異なります。経過がどの段階なのかを把握して、最も必要な医療などを受けるようにしましょう。

認知症の経過 ※右に行くほど 発症から時間が経過し、進行している。	気付き・発症期 軽度認知障がい(MCI)		軽度	中等度	重度
	認知症の疑いがある	認知症を有するが日常生活は自立している	誰かの見守りがあれば日常生活は自立している	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
生活の様子	◆もの忘れが多くなるが、日常生活に支障はきたしていない。半数以上の人が認知症へ移行。	◆もの忘れはあるが、買い物、お金の管理などはできる。	◆同じ物を買ってくる。料理や計算などにミスが目立つ。	◆着替えや食事・トイレ等がうまくできない。電話の対応や訪問者の対応が難しい。	◆家族の顔や名前がわからなくなる。運動機能が低下し、歩く・食べる等が困難になる。意思の疎通が困難。
相談	地域包括支援センター(平戸市役所福祉課) 高齢者支援センター(平戸市社会福祉協議会・平戸荘・わたつみの里) 居宅介護支援事業所 民生委員				
介護予防	老人クラブ/公民館活動・サークル活動等 介護予防教室 いきいきサロン活動 住民主体の通いの場(平戸よかよか体操)		通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション/訪問介護(ホームヘルパー)		
生活支援	民間宅配サービス 近隣住民の生活支援(認知症サポーター・地域を支えるサポーター) ワンコインまごころサービス(平戸市シルバー人材センター)		配食サービス 日常生活自立支援事業(金銭管理)/成年後見制度 通所介護(デイサービス)/訪問介護(ホームヘルパー) 小規模多機能型居宅介護(通所、訪問、宿泊)		
見守り	見守り事業所・自治会/民生委員の見守り、訪問/近隣住民の見守り(見守りサポーター・認知症サポーター・地域を支えるサポーター) 徘徊高齢者探索サービス 緊急通報装置の貸与				
家族支援	介護教室 認知症の人と家族のつどい/認知症カフェ				
身体介護			通所介護(デイサービス)/訪問介護(ホームヘルパー)/訪問入浴 小規模多機能型居宅介護(通所、訪問、宿泊)		
医療	かかりつけ医 精神科・もの忘れ外来・専門医		訪問看護		認知症疾患医療センター
住まい	自宅の環境整備 高齢者向け住宅(有料老人ホーム等)		グループホーム 介護老人福祉施設等		